

愛宕山用地における運動施設等及び岩国基地関連の政府要望について

愛宕山用地における運動施設等及び岩国基地関連の政府要望に関して、岩国市長が要望を行いました。その概要は下記のとおりです。

記

1 要望者

岩国市長 福田良彦

2 要望項目

- 愛宕山用地における運動施設等の整備について
- 在日米軍再編に係る安心・安全対策の具体的な取り組みについて
- 在日米軍再編に係る地域振興策について
- 海上自衛隊航空部隊の岩国残留について

3 要望内容

別紙要望書のとおり

4 要望先等

【防衛省】

(1) 防衛大臣

ア 日時 平成22年11月24日(水) 14時45分～14時55分
イ 場所 防衛省 大臣室
ウ 要望先 北澤俊美(きたざわ としみ)

(2) 防衛副大臣

ア 日時 平成22年11月24日(水) 14時00分～14時15分
イ 場所 防衛省 副大臣室
ウ 要望先 安住 淳(あずみ じゅん)

【外務省】

(1) 外務大臣政務官

ア 日時 平成22年11月24日(水) 15時45分～15時55分
イ 場所 外務省 応接室
ウ 要望先 山花 郁夫(やまはな いくお)

5 市長コメント

本日は、愛宕山用地における運動施設等の整備などについての要望を行った。

防衛大臣からは、「市民にとって良いものが出来たと思われるように、努力してまいりたい」、副大臣からは、「市からの要望事項については、極めて重要な課題だと認識しており、今後とも、市と連携しながら、地元の意向に沿うよう最大限努力していく」旨の発言があった。

また、外務大臣政務官からは、「航空機の運用時間の短縮については、大臣にもしっかり伝え、要望に沿えるよう努力してまいる」との発言があった。

愛宕山用地における施設配置案については、一定の評価をするものである。私としては、本日晒した愛宕山用地における運動施設等の整備に関する要望に対して特段の対応が図られるのであれば、了とするのもやむを得ないと考えているところである。

なお、利用形態等については、今後、さらに国に確認してまいりたいと考えている。

また、再編問題そのものについては、外交・防衛政策に責任を有する国の意思が最終的に決定された場合には、国と自治体はお互いの立場を尊重し、協力していくべきという考えのもとで、地域の安心・安全対策、地域振興策及び海上自衛隊の残留等を確保すべく協議を行っており、こうしたことをトータルで考えて判断すべきと認識している。